

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市双葉町計画新築工事	階数	地上14F 地下1階
建設地	大阪府茨木市双葉町	構造	RC造
用途地域	商業地域・近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	540 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2021年9月8日
敷地面積	3,146 m <sup>2</sup>	作成者	中村 太一
建築面積	1,214 m <sup>2</sup>	確認日	2021年9月9日
延床面積	12,335 m <sup>2</sup>	確認者	村井 俊彦



さい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 74%

③上記+②以外の 74%

④上記+ 74%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>底のラインや手摺のラインで水平性を強調し、水平ラインを強調したデザイン</li> <li>GRYISHでモノトーンな外壁色をベースとしたモダンで都市的なカラーリング</li> <li>都市の森としての緑豊かな外構デザイン</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各階手摺位置よりスラプラインを延ばすことにより、水平線の強調とともに、日射遮蔽に務め、住環境の向上に努めるよう計画している。</li> </ul>
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>商業地域においても快適な住環境を確保出来るように、周辺騒音及び住戸間の遮音性能の確保や自然光の確保に配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な階高や住戸内居室の快適な天井高を確保し、空間にゆとりをもせるよう配慮した計画。</li> <li>設備配管の更新性やメンテナンス性に配慮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に敷地外周部を緑化することで周辺環境に配慮。</li> <li>北側の商店街沿いにベンチを設け、街並みや利便性に配慮し、周辺住民に開かれた外構計画。</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅性能評価省エネ等級4として熱負荷抑制を図った計画。</li> <li>エネファームは全住戸実装した計画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火剤や冷媒等でフロン・ハロンの利用を極力行わない計画としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側商店街沿いのメインエントランス側に車寄せを計画し、商店街側の車の滞留抑制に配慮。</li> <li>適切な台数の駐車場・駐輪場・業務用駐車場を確保し、周辺の渋滞や路上駐車等の交通付加に配慮した計画としている。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0057

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市双葉町計画新築工事					
	建設地	大阪府茨木市双葉町355番2					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		